


# 大宇宙展 一星と人の歴史

## Space Odyssey

2020年5月27日(水)~9月22日(火・祝)

日本最大級の本の博物館  
 東洋文庫ミュージアム

- 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
- 入館料 ◆ 900円(一般)・800円(65歳以上)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
- ※ 三菱一号館美術館「三菱の至宝」展(7月8日~9月22日)の前売券・当日券で、  
 静嘉堂文庫美術館「美の競演-静嘉堂の名宝-」展(6月27日~9月22日)と、  
 東洋文庫の「大宇宙展」が無料でご覧いただけます。
- アクセス ◆ 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)徒歩8分、  
 千石駅(都営地下鉄三田線A3番出口)徒歩7分  
 都営バス上58系統・茶51系統「上富士前」徒歩1分
- 開館時間 ◆ 10:00~19:00(最終入館は閉館の30分前まで)  
 ※ 7月1日(水)、9月11日(金)は14時最終入館、15時閉館とさせていただきます。
- 休館日 ◆ 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)
- 主催 ◆ 公益財団法人 東洋文庫
- 後援 ◆ 読売新聞社、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
- 協力 ◆ 三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社

All exhibits with English explanations.



# 約5000年分の宇宙への旅

古来、世界各地で人々は天空の動きから様々な情報を読み取り、暦を作る、運命を占う、旅の道中の標にするなど、日々の暮らしのなかで役立ててきました。やがて、天体の動きや現象を観察し、その法則などを見出すことは学問として発展していきます。日本へは、6世紀後半から7世紀初頭に、朝鮮を通じて中国の暦と天文が伝わりました。

本展では、人々がどのように天空の動きを理解し、宇宙への憧れと好奇心を育てていったのか、古今東西の多様な資料によってその歩みをたどります。

## ミュージアム講演会

※参加費無料(入館料が別途かかります)

◇6月28日(日) 14:00～15:30

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期中に予定しておりました講演会等のイベントの開催を中止いたします。

鈴木 孝典(元東海大学教授)

◇7月26日(日) 14:00～15:30

なお、一部の講演につきましては配信によるご提供を検討しております。

「東西宇宙観の出会いと交流」

詳細は決定次第ホームページにてお知らせいたします。

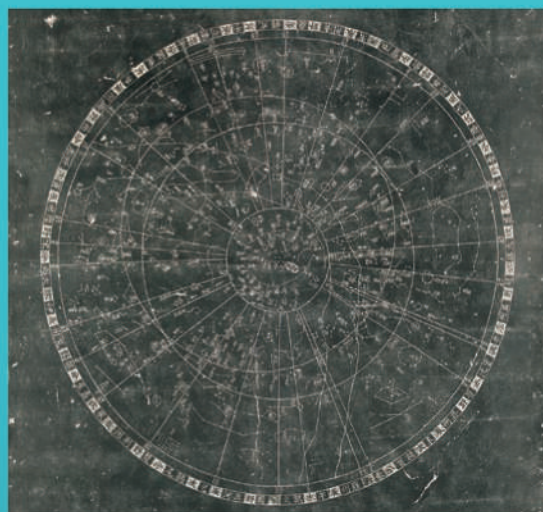
※お申し込みは2020年5月27日10時から受付開始いたします。

5月27日より以前のお申し込みは無効となります。

内容・日時等は変更になる場合がございます。

上記のほか、会期中にワークショップの開催を予定しています。

詳しくはホームページをご覧ください。



『淳祐天文図 拓本』(部分図)1247年石刻

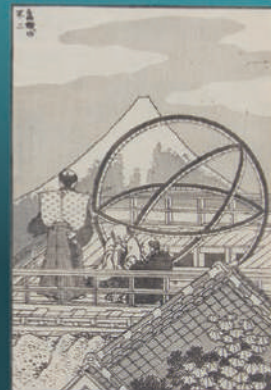


『宇宙誌』

ベトルス・アピアヌス、ゲンマ・フリシウス 1564年



『ブラウ大地図帳』より  
ティコ・ブラーエの天文台  
1664年



『富嶽百景』より  
「鳥越の不二」 葛飾北斎  
1834-1835年頃

## 三菱創業150周年記念 『三菱の至宝展』

期間：2020年7月8日～9月22日 会場：三菱一号館美術館

三菱を創業し、4代にわたり社長をつとめた岩崎彌太郎・彌之助・久彌・小彌太の、芸術文化への貢献をたどりつつ、静嘉堂、東洋文庫、三菱経済研究所が所蔵する貴重な作品と資料100点余りを展覧します。本展の前売券・当日券で、静嘉堂文庫美術館「美の競演-静嘉堂の名宝-」展(6月27日～9月22日)と、東洋文庫の「大宇宙展」が無料でご覧いただけます。

詳しくは三菱一号館美術館ホームページをご覧ください。



交通案内：  
駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分  
千石駅(都営地下鉄三田線A3番出口) 徒歩7分

**東洋文庫**

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21  
TEL：03-3942-0280  
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

\*ミュージアムショップ  
「マルコ・ポーロ」  
(10:00～19:00)

\*レストラン  
「オリент・カフェ」  
(11:30～21:30)

03-3942-0400

ご予約の際はレストランに  
直接お電話ください